

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	こどもヶ丘保育園大井町園
所在地	品川区大井1-48-9モンテパライティーノ1階

## 1 活動のテーマ

自然

<テーマの設定理由>

昨年度より『とうきょうすくわくプログラム』にて絵本をテーマに活動を実施。子どもたちが様々な絵本に触れる中で興味を持ったものの一つが自然だった。動植物の生死や成長について保育者と絵本を読みながら「なぜ」「どうして」と不思議に思う姿や戸外活動で植物に触れる様子を見て、より身近な環境でより深く探求できる環境を作りたいと思い、上記のテーマを設定した。

## 2 活動スケジュール

4月：絵本や戸外活動、食育活動で自然に触れる  
5月：園敷地内でプランターにてピーマンの苗を植える  
5月～8月：水やりをしながら苗の成長を観察する  
8月：ピーマンを収穫する  
9月～：戸外活動にて様々な動植物に触れる

## 3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

- ・動植物の多い公園へ行き、保育者も一緒に動植物に触れることを楽しむ。
- ・動植物に関する絵本や図鑑を子どもたちが自由に見られるよう置いておく。
- ・プランター、苗、ジョウロ等の購入。
- ・季節ならではの植物（セミの抜け殻・まつぼっくり・栗）などが触れられるコーナーの設置。

## 4 探究活動の実践

<活動の内容>

『4月：絵本や戸外活動、食育活動で自然に触れる』

絵本コーナーに身近な動植物に関する絵本や図鑑を用意し、自由に見ることができるようにした。近隣の公園等では、ダンゴムシやアリ、テントウムシ、植物などを観察したり、保育者と一緒に実際に触ってみたりした。また、園に持ち帰って観察し、絵本や図鑑と見比べた。食育活動では、調理前の野菜の姿を観察したり、においや感触を感じたりしながら皮むきをした。

『5月：園敷地内でプランターにてピーマンの苗を植える』

「おおきなかぶ」や野菜の図鑑などを見てイメージしながら、自分たちでピーマンを育ててみることを伝えた。実際に土の柔らかさやにおい、苗の大きさなどを感じ、観察しながら植えた。

『5月～8月：水やりをしながら苗の成長を観察する』

登降園時に保護者と観察したり、朝夕に水やりをしたりしながら苗が成長する様子を観察した。「おおきくなーれ！」と友だちや保育者と苗に声をかけながら水をあげた。苗の成長や花が生る様子、実がつく様子など徐々に変化していく姿を期待感をもって見守っていた。

『8月：ピーマンを収穫する』

ピーマンが成熟したことを子どもたちと確認し、収穫した。においや色、大きさを観察し、野菜スタンプにして遊んだり、切って断面や種を見てみたりした。また、実際に給食や家庭で調理してもらい喫食。

『9月～：戸外活動にて様々な動植物に触れ、探求する』

再び戸外活動が可能になり、近隣の公園で「ダンゴムシはいるかな」「これはなんの葉っぱかな」と考え、友だちや保育者と話し合いながら虫を観察したり、落ち葉や実を拾い集めたりした。また、収集物を園に持ち帰り、自由に触れることができるコーナーで観察したり触れてみたりした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

身近な自然に触れる



苗植え・水やり



### 収穫・食べる・野菜スタンプ



### 季節の自然に触れ、考える



## 5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

昨年度から多くの絵本に触れてきたことで、一人で絵本を楽しむ時間が増えたり、新しい絵本に自ら興味を持ったりする姿が見られた。特に食べ物や生き物が出てくる絵本には多くの子どもたちが興味関心を示し、「どれが好きか」「どんな気持ちか」など絵本を介して多様な思考や感受性が育まれていることを実感した。実物を用いた活動や観察は、絵本と比べたり触れてみたりして意欲的に関わろうとしている姿が見られた。特に、新しい活動や遊びに不安感を示したり消極的になったりする子が自ら興味津々に参加している姿が印象的だった。